

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2026年5月20日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社富島
所在地	〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦 1-2-20
代表者役職・氏名	代表取締役社長 内田 裕久
担当者連絡先	電話：045-778-4741
	メール：stsugawa@tomijima.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.tomijima-unyu.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は国際物流のための輸送、梱包、保管・通関、船積の複合機能を備えた物流センターを神奈川県と静岡県に有し、お客様のニーズに合わせたきめ細かな物流サービスを提供しています。	
特に主力拠点である横浜物流センターは保税蔵置場として税関からAE0認証を取得しており、貨物管理体制には万全を期しているほか、大型機械等を取扱う施設としては、規模・人員・荷役設備等の面で他の追随を許さず、構内の専用岸壁を使用して、プラントなどの大量貨物を船へ直接積み込むことができるほか、国際物流のコンテナ化に的確に対応するため、リーチスタッカーを導入し、大型の輸送コンテナの移動やコンテナ輸送用車両への積卸作業を迅速に行っています。また、本牧物流センターは本牧ふ頭、南本牧ふ頭へ短時間でアクセスできる立地を活かし、ドライコンテナをはじめ各種コンテナ貨物を迅速かつ安全に取り扱うことが出来る拠点として整備されています。	

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	グリーン経営認証の継続取得を通じて、エネルギー使用抑制に向けた投資や廃棄物処理の創意工夫など、環境活動をさらに強化する。	各センター構内の水銀灯や蛍光灯をすべてLEDに置き換えて、太陽光発電システムなど再生可能エネルギーの活用を推進する。
□環境 ✓社会 □経済	優れた人間性を養うための社内人材育成研修(定員12名・6ヶ月間)を毎年実施し、活動を通じて各分野で役立つ基本的なノウハウ(共通の人材育成ツール)を学び、「人が育つ会社」を目指す。	希望する全社員が受講することで、人・職場・会社の成長へとつなげる。また、愛着度と心理的安全性に関する「職場健康診断」を全職場対象に定期的に実施し、職場の課題と阻害原因等について議論し、対策案を導き出し実践することで、愛着度と心理的安全性の向上を図る

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメントを禁止する旨就業規則に明記している。管理部に相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる									8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	Gマーク認定を取得している。月に1度、安全衛生委員会と構内パトロール開催している。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	心理相談員設置、ストレスチェック実施			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	在宅勤務をとりいれるなど幅広い人材が活躍できる職場環境を整備している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	階層別研修の実施(5期実施)				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる				3					8									
11	【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	公益社団法人交通エコロジーモビリティ財団よりグリーン経営認証を取得している											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	船輸送を多用し、一度の輸送量を増やし、陸送によるCO2排出量を削減している							7.2 7.3					12.4	13.3				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6										15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	雨水を貯水し、洗車に利用している						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	横浜物流センターE棟屋上にソーラーパネル設置している							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	大型貨物を運搬する際の保護枠を木材からスチールに切り替え、森林材の保護に寄与するほか、スチールの端材は100%リサイクルにまわすため、廃棄物の削減にも有益。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	本社工場周辺の地域清掃(月1回)				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

